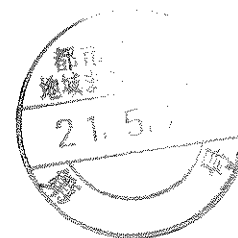


ヨコハマ市民まち普請事業

第1次整備提案書



<p>整備提案名 (25字以内)</p>	<p>うらしまたろうのまちづくり ～路傍博物館～</p>
<p>提案グループ名 (25字以内)</p>	<p>神奈河うらしま組</p>
<p>グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績</p>	<p>昨年末の「友・遊・まちづくりフォーラム」で出会ったことをきっかけにメンバーが個々の専門を生かして何か連携して活動できないかということから出発しました。コミュニティを創造する上での核となる「うらしま」をテーマとして取り上げ、絵本(史料に基づくもの、創作)作り、うらしま弁当、亀の甲煎餅の復活、イベントや料理への展開を企画しています。 <資料-4>参照</p>
<p>整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)</p>	<p>神奈川区亀住町と浦島町を中心として 新町、新浦島町、子安通、七島町、浦島丘、立町、東神奈川とその周辺 <資料-1>、<資料-2>参照</p>
<p>整備提案の内容 (どのような整備を提案するのか文章で記入してください)</p>	<p>《以下の名称及び内容の具体的デザインなどはいずれも、学習会やまちあるき、絵本作りのイベント、うらしま回覧板などのうらしまたろうをキーワードとしたまちづくりを展開することで、子どもからお年寄りまでみんなで協力して決めていきたいと思います。》 地域全体を路傍博物館として整備することを提案します。 具体的には、次のようなことを提案します。 ①起点として想定される浜公園に路傍博物館の全体像や歴史資源などの各スポットを表す総合案内板を設置する。②路傍博物館の各スポットをつなぐ主要なコース上に、道案内用の亀のモニュメントを設置する。③スポットの一つとして「絵本街道」を企画。(ここにはうらしま関係の絵を飾ります。額縁を整備するので内容を替えることも可能とします。)④観福寿寺の跡地や各スポットとなる場所に亀の形のベンチで由来等を記した解説板を併用させたものの設置。⑤「うらしま」が足を洗ったとされる井戸周辺に亀のベンチを設置。(地域の人が寄り合い、ミニ広場として使われることを期待します。) <資料-3>参照 費用の概算額:約 500万円</p>
<p>整備提案の動機や背景 (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)</p>	<p>【コミュニティ】地元の方たちからの話では高齢化や子育ての問題を解決する必要が地域の課題としてあげられます。 【歴史】 ・ 失われた歴史資源の発掘をきっかけにまちづくりをしたいです ・ 地域のもつ歴史的背景と生活とが必ずしも結びついていないのではないのでしょうか 【まちづくり】 ・ 世代交代もあり、防災や、すみ続けるためにはどうしたらいいかという動きが次の世代に受け継がれにくい課題があります。⇒次のステップが必要とされています ・ まちづくりひとづくりに際しての課題解決方法の模索をしたいと思います。 ・ 持続性や地域の思いからのまちづくりの観点から、ハード面においても行政と市民とのパートナーシップの構築が求められていると考えます ・ テーマ型の団体(例:提案グループなど)と地縁型の団体(例:町内会など)との協働が求められています ・ 少子高齢化の進む地元だけの力ではなかなか課題の浮き出し、解決に結びつかないと考えます</p>

<p>整備の効果 (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)</p>	<p>子どもからお年寄りまで、また全国の人々にもよく知られた「うらしま」という共通のテーマをもって整備されたまちを歩いたり、亀のオブジェの周りで立ち話をしたりすることで、いままでになかった新しい世代間を越えるような交流が生まれると考えます。</p> <p>地域の方々とはテーマ型のグループとが一緒に活動することで、地域に住んでいるからこそ気づけなかった魅力や見直すべき点などに気づくことができるのではないのでしょうか。例えば、地域の子育てや、高齢問題、防災などに視点をかえて取り組んだり、新しいまちへの想いにささえられた今までとは一味違うコミュニティづくりに発展させることができるかと思われま。</p>
<p>整備した施設の維持管理・運営 (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか?)</p>	<p>提案グループが、整備した施設等のメンテナンスや清掃などを率先して実施することで地元の方に活動を理解していただき、また興味関心をもってもらいながら、協働していくくみを共に築きあげていきたいです。</p> <p>例えば、うらしまデーをつくることで、提案グループはもとより史跡ガイドグループなどと共同して史跡ツアーなどを企画し、施設・設備の活用と、グループの取り組みを地域の方々に見ていただきながら徐々に一緒に活動していきたいです。</p> <p>また、広報公聴のための仕組みとして、提案グループ発行のうらしま回覧板をつくることで地域の方々とは提案グループが相互に情報を共有できるようにし、子どもからお年寄りまで整備した施設について興味関心が持てるような工夫を重ねていきたいと思ひます。</p> <p>提案グループ内の学生は入れ替わることはありますが、次の代に引き継いでいく仕組みは整いつつあります。</p>
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ ○提案を実現するために活用する地域の資源 ○その他提案について特にPRしたい点</p>	<p>【ユニークさ】地域の人々の活動に、外からの関わりも可能なくみをつくろうという点です。</p> <p>【地域の資源】浦島小学校のすべり台や、浦島丘中学校の体育館屋根など、すでに亀のオブジェとしてとらえられる資源を取り入れたコースづくりを行います。新たな亀のオブジェづくりや絵本づくりなどで地元やその近隣からの子どもたちの参加を取り入れていきます。また、うらしま回覧板やうらしまサポーター募集、キッズガイドなどさまざまな参画のくみをつくり、地元の子どもたちやお年寄りなどと一緒にコミュニティづくりをすすめていきたいです。</p> <p>【PRしたい点】「うらしま」というテーマ(コミュニティ創造の核になりうる)を活動の中心に置くことで、まちおこし、子育て、高齢化、防災などさまざまな輪を広められると思ひます。例えば、今後の展開として入江川の親水公園化、地元のまちづくり活動への新しい視点からのアプローチ提案や、お祭りの新しい盛り上げ方を一緒に考えることなどです。</p> <p><問題と解決>をく1対1で捉えるのではなく、「うらしま」というテーマにすることで、すべての問題に対応し、効果のあるアイデンティティ、コミュニティづくりを目指します。</p>

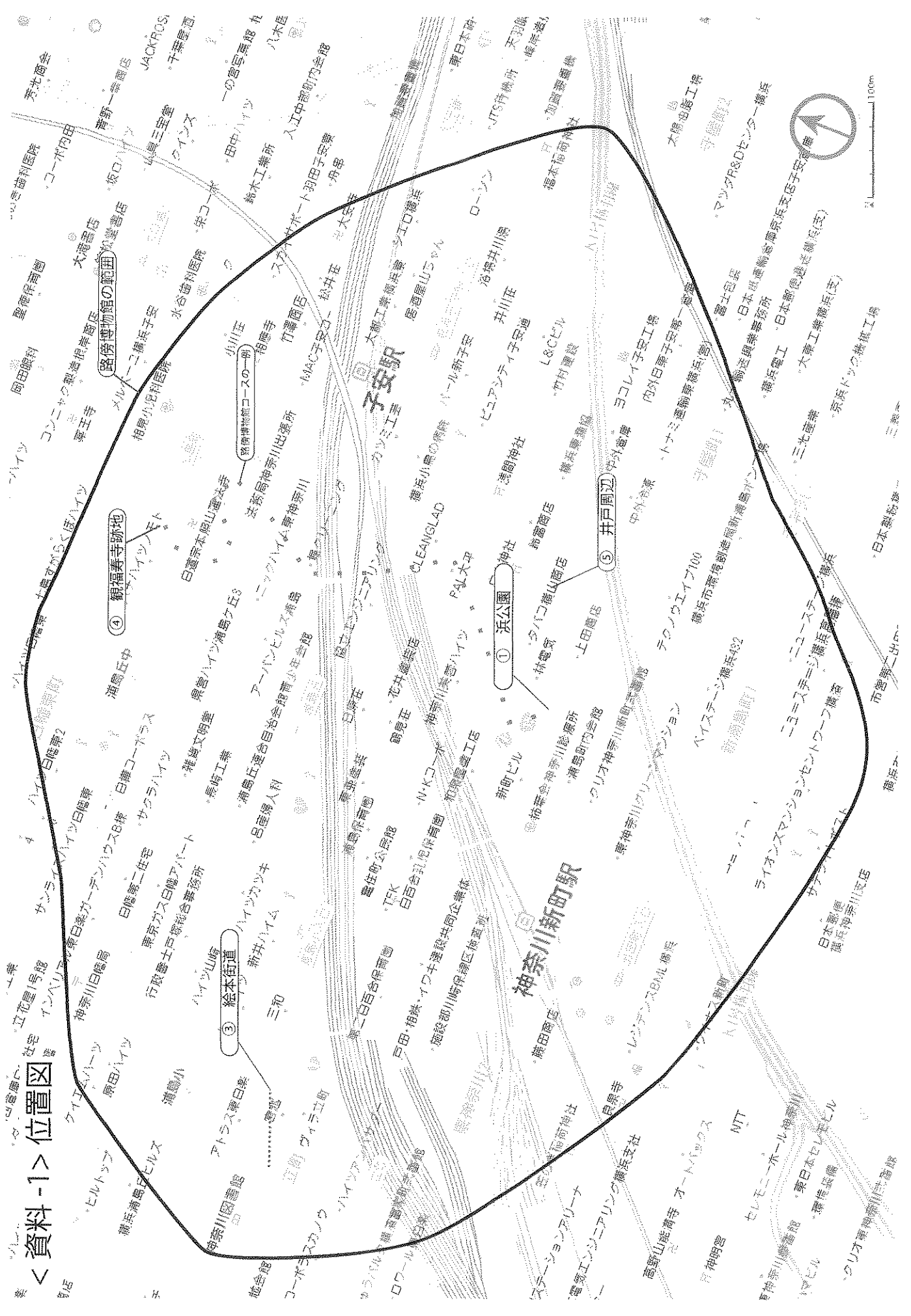
整備場所の地権者等 ^{注5)} への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況		
説明の相手方		相手方の意見等
浜公園	区役所区政推進課 土木事務所	整備に関しては土木事務所に問い合わせる必要があるとのこと 【区を通して5月中旬に日程を調整します】
路傍	浦島町内会 住民	町内会の役員の方には賛同をいただいています。活動が発展して入江川親水化や地域の防災のことまで考えてほしいという意見をいただいています。 【うらしまサポーターを募集する過程で説明いたします】
擁壁 井戸	マンション 地権者	【5月中旬に日程を調整します】 【町内会の方に紹介していただき、5月中旬に日程を調整します】

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

<資料-1> 位置図



① 安井駅

② 親福寿寺跡地

③ 絵本街道

⑤ 井戸周辺

神奈川新町駅

安井

100m

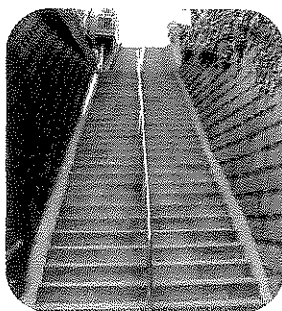


< 資料 -2> 現況写真

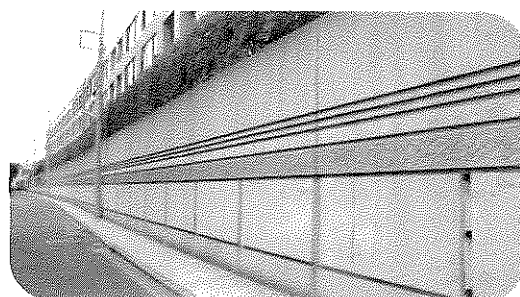
① 浜公園



② 路傍



③ 擁壁



④ 観福寿寺跡地



⑤ 井戸周辺



<資料-3>イメージ図

① 総合案内板（浜公園）

【A案】



【B案】



※具体的な位置などは地域の方々と一緒に考えていきます。

③ 絵本街道



※うらしま関係の絵本を貼り付けてみましたが、あくまでもイメージです。

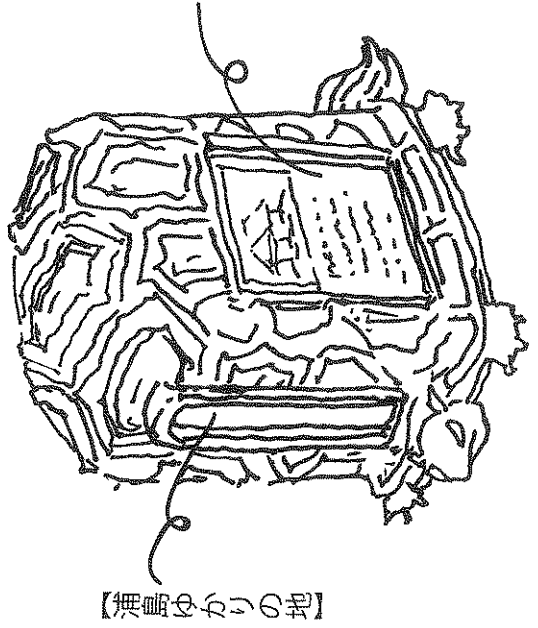
② 亀のモニュメント（路傍）



※わかりやすくするため、あえて亀同士の間隔を狭めてあります。

④ 亀の形のベンチ（観福寿寺跡地）

⑤ 亀の形のベンチ（足洗い井戸）



写真又は絵図による解説

<資料 - 4 >

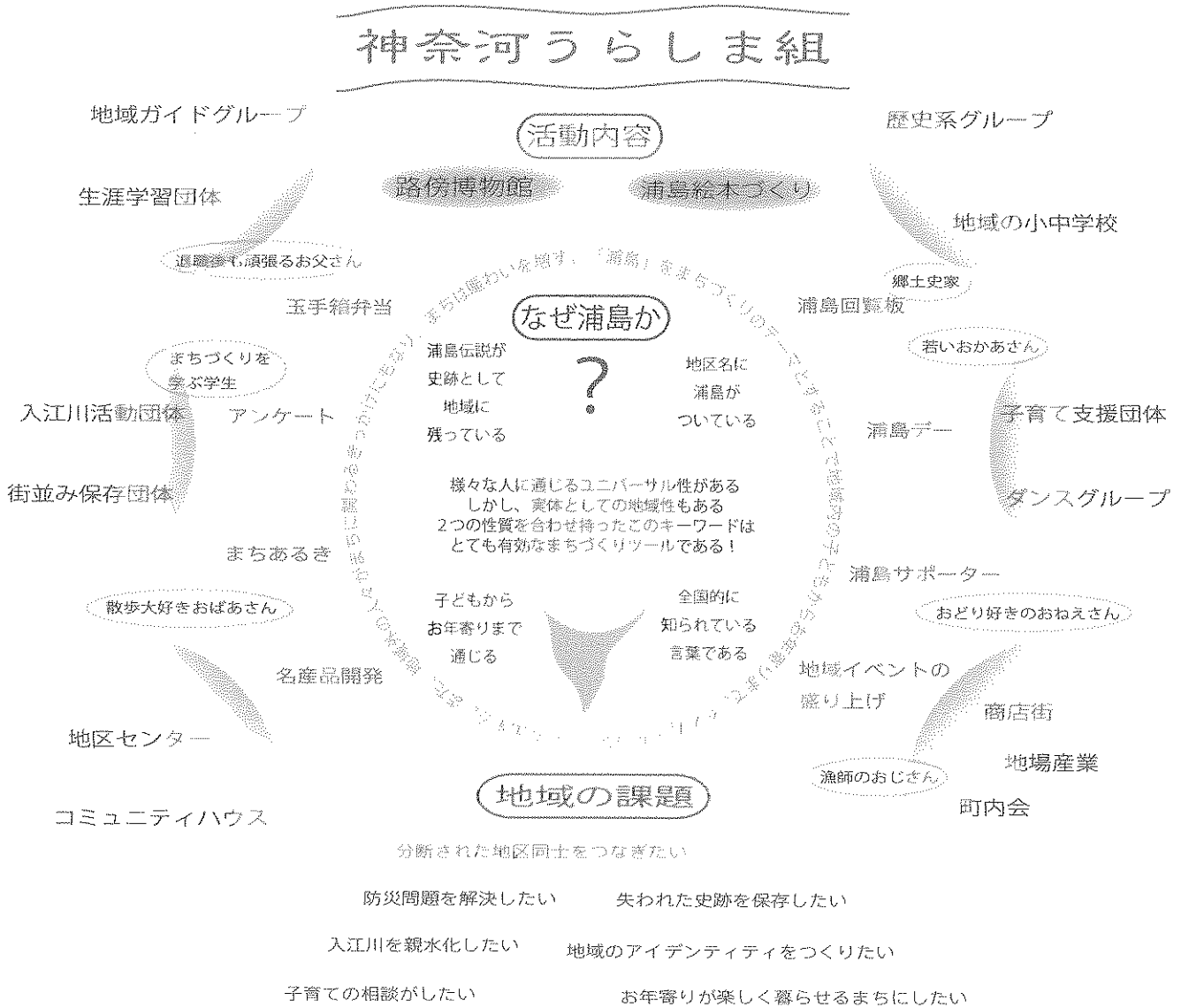
うらしま組とは

「神奈河うらしま組」は神奈川の浦島太郎伝説を元にまちづくりを行う集まりです。

神奈川県には浦島太郎の伝説に由来する場所が数多く存在します。わたしたちはそれらが集まっている地域を「浦島地区」と名付け、地域の中の人・外の人、みんな一緒にお伽話と人々の生活が豊かに結びついたらまちをつくることを目指しています。

浦島太郎という誰にでも親しみのある言葉を中心に活動することで、色々な人達を巻き込んで地域の様々な課題を解決していきます。

路傍博物館・浦島絵本づくりを中心にたくさんの活動を多くの人と共同して取り組みます。



神奈河うらしま組・全体ダイアグラム